

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第7部門第2区分  
 【発行日】平成19年12月6日(2007.12.6)

【公表番号】特表2007-515076(P2007-515076A)

【公表日】平成19年6月7日(2007.6.7)

【年通号数】公開・登録公報2007-021

【出願番号】特願2006-545637(P2006-545637)

【国際特許分類】

H 05 K 3/10 (2006.01)

【F I】

H 05 K	3/10	C
H 05 K	3/10	D

【手続補正書】

【提出日】平成19年10月17日(2007.10.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

収縮性ポリマーフィルムを提供する工程と、  
 実質的に非導電性のコーティングを前記ポリマーフィルムの一部の上に堆積する工程と、  
 前記収縮性ポリマーフィルムおよび前記実質的に非導電性のコーティングの温度を上昇させて前記ポリマーフィルムの突出表面積が少なくとも50パーセント収縮し、前記非導電性コーティングが少なくとも100パーセント、より導電性になる工程と、を含む導電性トレースの形成方法。

【請求項2】

収縮性ポリマーフィルムを提供する工程と、  
実質的に非導電性のコーティングを前記ポリマーフィルムの一部の上に堆積する工程と、  
 前記収縮性ポリマーフィルムの温度を上昇させて前記フィルムの前記突出表面積が少なくとも80パーセント収縮し、前記コーティングが導電性トレースを形成する工程と、を含む導電性トレースの形成方法。

【請求項3】

導電性トレースを備える物品であって、  
 ポリマーフィルムと、  
 導電性トレースと、を含み、  
 前記導電性トレースは、実質的に非導電性のコーティングを前記ポリマーフィルム上に堆積し、次いで前記ポリマーフィルムを高温に暴露してその収縮前の突出表面積の少なくとも10倍、前記ポリマーフィルムの収縮を起こすことによって形成されたものである、導電性トレースを備える物品。